



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タカチホ

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,396	14.1	349	52.0	348	52.2	284	10.0
2023年3月期第2四半期	3,854	52.3	229	—	229	—	258	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 289百万円（11.4％） 2023年3月期第2四半期 259百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	445.01	—
2023年3月期第2四半期	406.06	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	4,657	1,676	36.0	2,608.94
2023年3月期	4,166	1,374	33.0	2,160.16

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 1,676百万円 2023年3月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	3.6	337	2.4	330	0.7	230	△50.0	361.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	727,500株	2023年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	84,851株	2023年3月期	91,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	638,780株	2023年3月期2Q	636,131株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、景気も緩やかに回復に向かう動きが継続しました。

国内においては、観光・レジャー需要が回復基調となり、海外からの入国制限が解除され外国人旅行者も増加傾向にあるなど、観光事業は順調に推移しました。しかしながら資源価格の上昇による原材料価格の高騰、物価上昇やコロナ禍での消費行動・価値観の変化、観光事業における慢性的な労働力不足等、先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,396百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は349百万円（前年同四半期比52.0%増）、経常利益は348百万円（前年同四半期比52.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は284百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光需要が回復基調となったことから観光地の人出回復とともに受注も増加し、売上高は3,372百万円（前年同四半期比27.7%増）となり、営業利益は379百万円（前年同四半期比88.1%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光需要が回復基調となったことから観光地の人出回復とともに販売が増加したものの、前年に開催された長野市における善光寺御開帳効果が剥落し、売上高は458百万円（前年同四半期比8.9%減）となり、営業利益は34百万円（前年同四半期比45.8%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により経済活動の正常化が進み、観光需要が回復基調となったことから観光地の人出回復とともに受注も増加し、売上高は83百万円（前年同四半期比20.1%増）となり、営業利益は22百万円（前年同四半期は0百万円の営業利益）となりました。

④温泉施設事業

温泉施設事業は、前年度に価格改定を行い資源価格の上昇による運営費増加を吸収したことにより、売上高は137百万円（前年同四半期比11.5%増）となり、営業利益は15百万円（前年同四半期比62.3%増）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち自社運営していた飲食店舗を賃貸に変更したこと等により、賃料収入は73百万円（前年同四半期比17.2%増）となり、営業利益は27百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要が一巡したほか、競合店の進出等の影響により、売上高は240百万円（前年同四半期比27.0%減）となり、営業利益は2百万円（前年同四半期比92.8%減）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、ギフト店、飲食店の運営が含まれます。保険代理店及びギフト店等のノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は29百万円（前年同四半期比76.0%減）となり、営業利益は4百万円（前年同四半期比60.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ498百万円(24.6%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が120百万円、受取手形及び売掛金が292百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円(0.3%)減少いたしました。これは主に投資その他の資産が2百万円増加した一方、有形固定資産が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ490百万円(11.8%)増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,513百万円となり、前連結会計年度末に比べ356百万円(30.8%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2百万円、短期借入金が376百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円(10.3%)減少いたしました。これは主に長期借入金が163百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円(6.7%)増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円(22.0%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益284百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.00%(前連結会計年度末は32.98%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日開示の2023年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	913,524	1,034,221
受取手形及び売掛金	651,018	943,347
商品及び製品	391,593	467,825
原材料及び貯蔵品	41,100	44,132
その他	30,442	36,980
貸倒引当金	△1,056	△1,626
流動資産合計	2,026,622	2,524,879
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	575,441	570,926
土地	902,820	902,820
その他（純額）	108,207	101,251
有形固定資産合計	1,586,469	1,574,998
無形固定資産	112,131	113,378
投資その他の資産		
敷金及び保証金	116,349	112,029
その他	336,658	343,885
貸倒引当金	△11,518	△11,526
投資その他の資産合計	441,488	444,388
固定資産合計	2,140,090	2,132,765
資産合計	4,166,713	4,657,645
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,370	408,318
短期借入金	356,397	732,776
未払法人税等	78,896	70,749
賞与引当金	45,963	46,011
契約負債	13,632	13,433
その他	256,530	241,862
流動負債合計	1,156,790	1,513,151
固定負債		
長期借入金	1,312,505	1,148,857
資産除去債務	94,807	95,485
その他	228,470	223,520
固定負債合計	1,635,782	1,467,862
負債合計	2,792,573	2,981,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,711	701,882
利益剰余金	△152,711	131,549
自己株式	△179,140	△166,357
株主資本合計	1,369,858	1,667,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,281	9,557
その他の包括利益累計額合計	4,281	9,557
純資産合計	1,374,140	1,676,631
負債純資産合計	4,166,713	4,657,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,854,225	4,396,268
売上原価	2,739,639	3,158,392
売上総利益	1,114,585	1,237,876
販売費及び一般管理費	884,826	888,731
営業利益	229,759	349,144
営業外収益		
受取利息	4	24
受取配当金	321	375
受取事務手数料	648	620
受取手数料	3,509	2,721
その他	1,537	1,589
営業外収益合計	6,022	5,331
営業外費用		
支払利息	5,568	4,933
その他	1,080	758
営業外費用合計	6,649	5,692
経常利益	229,131	348,783
特別利益		
助成金収入	40,660	123
事業譲渡益	2,750	—
特別利益合計	43,410	123
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	—	2,592
特別損失合計	—	2,592
税金等調整前四半期純利益	272,542	346,313
法人税、住民税及び事業税	49,932	63,053
法人税等調整額	△35,696	△1,001
法人税等合計	14,236	62,052
四半期純利益	258,305	284,261
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,305	284,261

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	258,305	284,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,518	5,275
その他の包括利益合計	1,518	5,275
四半期包括利益	259,824	289,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,824	289,537
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	272,542	346,313
減価償却費	46,429	43,222
減損損失	—	2,592
有形固定資産除却損	—	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33	577
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,413	47
契約負債の増減額 (△は減少)	△133	△199
受取利息及び受取配当金	△326	△399
支払利息	5,568	4,933
助成金収入	△40,660	△123
売上債権の増減額 (△は増加)	△278,948	△292,328
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△68,417	△79,263
営業保証金の増減額 (△は増加)	—	4,100
仕入債務の増減額 (△は減少)	81,574	2,948
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,332	△26,575
前受金の増減額 (△は減少)	△14,911	△5,985
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,025	876
その他の負債の増減額 (△は減少)	4,693	4,361
事業譲渡損益 (△は益)	△2,750	—
その他	824	6,045
小計	22,556	11,144
利息及び配当金の受取額	323	297
利息の支払額	△5,692	△4,866
法人税等の支払額	△9,632	△67,678
法人税等の還付額	1,049	—
助成金の受取額	40,660	123
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,264	△60,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△17,194	△30,167
無形固定資産の取得による支出	△4,140	△638
敷金及び保証金の差入による支出	—	△10
事業譲渡による収入	2,750	—
その他	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,554	△19,815

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,450,000	1,950,000
短期借入金の返済による支出	△1,650,000	△1,550,000
長期借入れによる収入	901,006	1,372
長期借入金の返済による支出	△301,722	△188,641
自己株式の取得による支出	△26	△116
配当金の支払額	△246	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	399,011	212,493
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	435,721	131,697
現金及び現金同等物の期首残高	733,592	902,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,169,313	1,034,221

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

《セグメント情報》

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	2,640,886	503,344	69,409	123,342	—	329,583	3,666,565	124,733	3,791,298	—	3,791,298
その他の収益	—	—	—	—	62,926	—	62,926	—	62,926	—	62,926
外部顧客への 売上高	2,640,886	503,344	69,409	123,342	62,926	329,583	3,729,492	124,733	3,854,225	—	3,854,225
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	44,071	—	110,550	—	14,805	—	169,427	92,612	262,040	△262,040	—
計	2,684,958	503,344	179,960	123,342	77,731	329,583	3,898,919	217,345	4,116,265	△262,040	3,854,225
セグメント利益	201,823	64,292	48	9,525	22,648	36,233	334,571	10,648	345,220	△115,461	229,759

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	3,372,385	458,613	83,365	137,507	—	240,687	4,292,558	29,951	4,322,510	—	4,322,510
その他の収益	—	—	—	—	73,757	—	73,757	—	73,757	—	73,757
外部顧客への 売上高	3,372,385	458,613	83,365	137,507	73,757	240,687	4,366,316	29,951	4,396,268	—	4,396,268
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	37,885	—	129,994	—	14,400	—	182,279	80,848	263,127	△263,127	—
計	3,410,270	458,613	213,359	137,507	88,157	240,687	4,548,596	110,799	4,659,395	△263,127	4,396,268
セグメント利益	379,720	34,877	22,083	15,455	27,088	2,603	481,828	4,239	486,067	△136,922	349,144

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アウトドア用品事業」セグメントにおいて2,592千円の減損損失を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。